

TOTO


フラッシュバルブ



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)


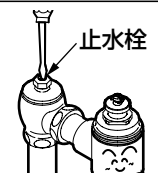
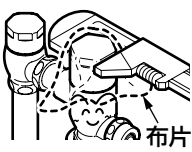
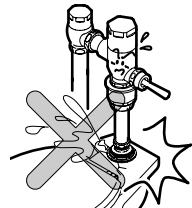
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性を示しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

注意	
 禁止	<p>強い力や衝撃を与えない</p> <p>破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>本体の通水路には抵抗となるような部材（オリフィスなど）をつけない</p> <p>洗浄機能への悪影響や水漏れのおそれがあります。</p>
 分解禁止	<p>この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない</p> <p>破損して、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>

注意		
 必ず実行	<p>フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う</p> <p>水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
	<p>めっきされた部分にモーターレンチなどを用いる場合は、めっきを傷付けないように必ず布片をはさむ</p> <p>めっきがはがれ、けがをするおそれがあります。</p>	
	<p>空気の混入が考えられる給水配管には必ず空気抜き弁を取り付け、空気が配管内に残らないようにする</p> <p>新築・改修工事後や、水道断水復旧後に、大量の空気と水が混入して器具に供給されると、器具の破損や故障の原因となり、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

2 仕様

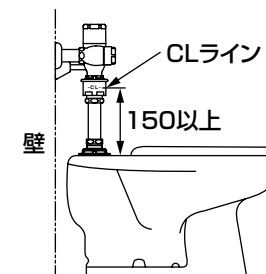
タイプ	節水形	普通形	低圧形
	TV750型・TV850型 TV752型・TV852型	TV150型 TV152型 T153型	T170型・TV170型 TV172型・TV173型 TV176型・TV177型
洗浄水量調節範囲	8~13L	— (水量調節ねじ有り)	調節なし
工場出荷時 洗浄水量	10L	13L	16L以上
給水圧力	最低必要水圧 (流動時)	0.07MPa	0.04MPa
	最高水圧 (静止時)	0.75MPa	0.1MPa
給水接続部	25A(ねじサイズ：R1またはRc1)		
使用温度範囲	1~40℃		
使用水	水道水・井戸水 再生水・雑用水 (注)	TV850型・TV852型	
	海水用	T153型	
	水道水のみ	上記以外の品番	
用途	パブリック大便器洗浄用		

(注) 井戸水・再生水・雑用水は使用できる水質範囲があります。
詳しくは下記アドレスのホームページをご参照ください。
ホームページアドレス：<http://www.com-et.com/kiki/>

3 取り付け前に

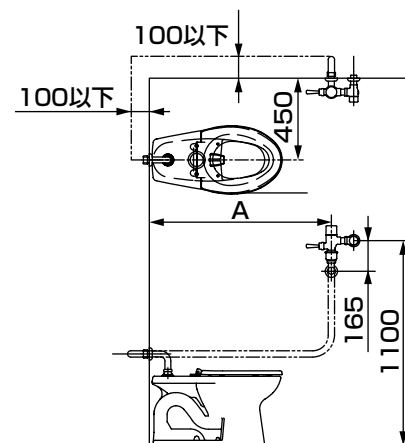
●節水形・普通形のフラッシュバルブ本体は、水量調節ねじが必ず上にくるように垂直に取り付けてください。
横向きになると、正常な機能を発揮しないことがあります。

●バキュームブレーカー側面のCLラインから便器のあふれ縁までは150mm以上を確保してください。(右図参照)
※CL (Critical Installation Level) とはバキュームブレーカーの空気吸入シート面の位置を示す線です。



●床給水の場合は、パイプホルダーなどで給水管や洗浄管を確実に固定してください。

●壁給水壁排水形とを組み合わせる場合は、便器を確実に洗浄するためフラッシュバルブを下図寸法内に取り付けてください。



(単位：mm)

大便器品番	A寸法
C21N	960
CS210CN	
C426R	980
C480AN	
C480N	
CS480CN	930
C550SU	
C743PVN	950
C111	1000

●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

フラッシュバルブ本体	
<p>節水形フラッシュバルブ 普通形フラッシュバルブ</p>	<p>低圧形フラッシュバルブ</p>
給水・洗浄管部	その他

※井戸水・再生水・雑用水は使用できる水質範囲があります。詳しくは下記アドレスのホームページをご参照ください。

ホームページアドレス：<http://www.com-et.com/kiki/>

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5

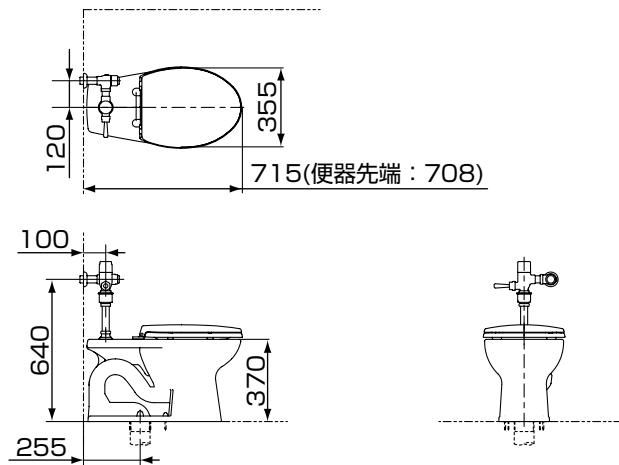
完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

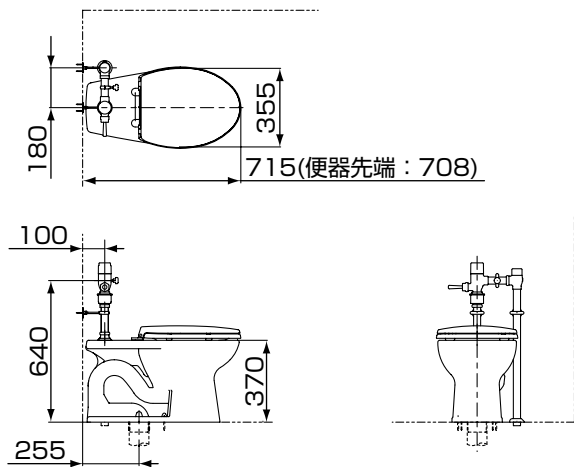
節水形フラッシュバルブ

<壁給水の場合>

(単位：mm)



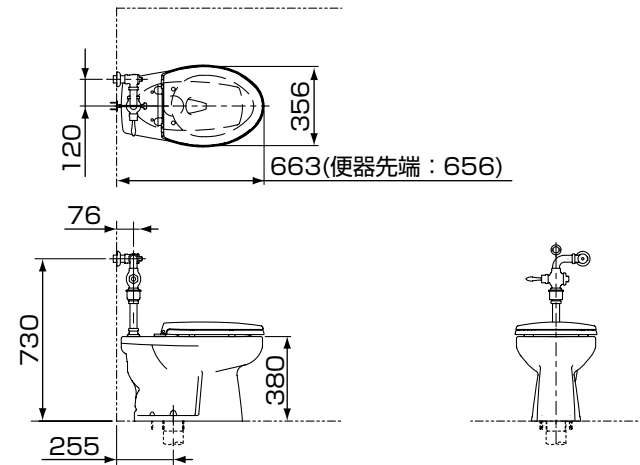
<床給水の場合>



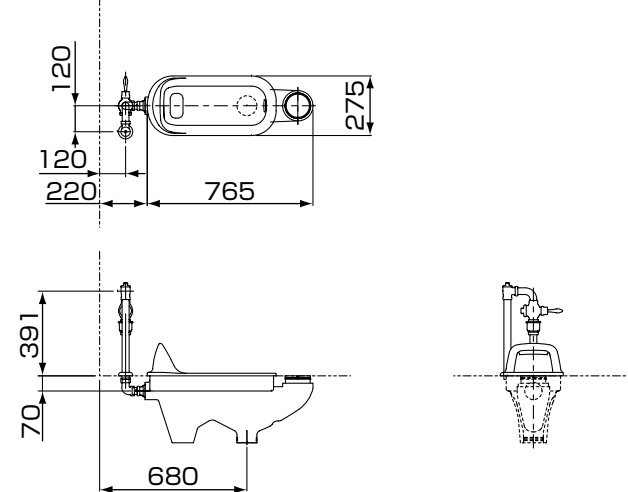
低圧形フラッシュバルブ

<壁給水の場合>

(単位：mm)



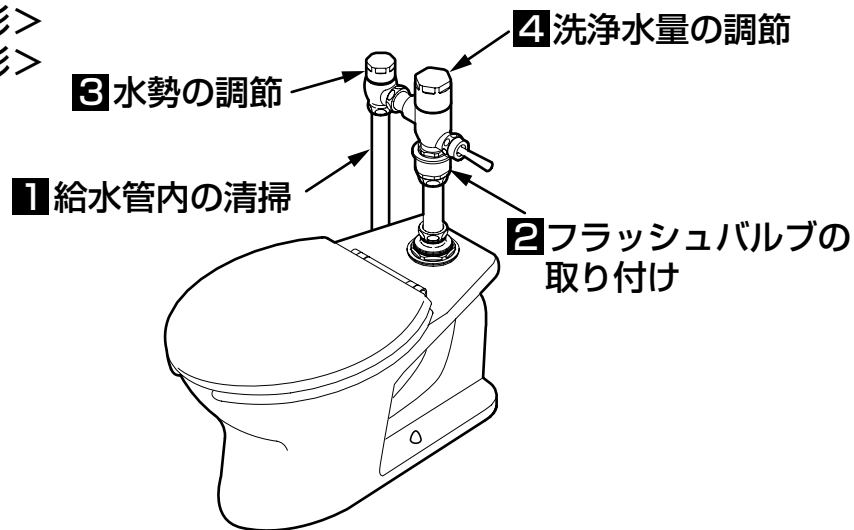
<床給水の場合>



6-1

施工手順

<節水形>
<普通形>



<低圧形>



1 給水管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

2 フラッシュバルブの取り付け

① 給水管にフランジを通し、所定の位置に取り付ける。

② 止水栓をフラッシュバルブ本体から取り外し、①で取り付けした給水管に取り付ける。

注意

このとき、袋ナット部のパッキンを紛失しないように注意してください。

③ 洗浄管を所定の位置に取り付ける。

注意

洗浄管が長い場合は切断し、調節してください。

④ バキュームブレーカーをフラッシュバルブ本体に取り付ける。

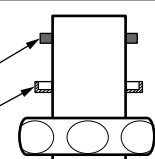
⑤ 洗浄管にバキュームブレーカーの袋ナット・パッキンガイド・パッキンを挿入し、バキュームブレーカーに取り付け、袋ナットで締め付ける。

注意

パッキンガイドの向きと順番を間違えると水漏れのおそれがあります。

パッキンガイドの向きに注意してください。

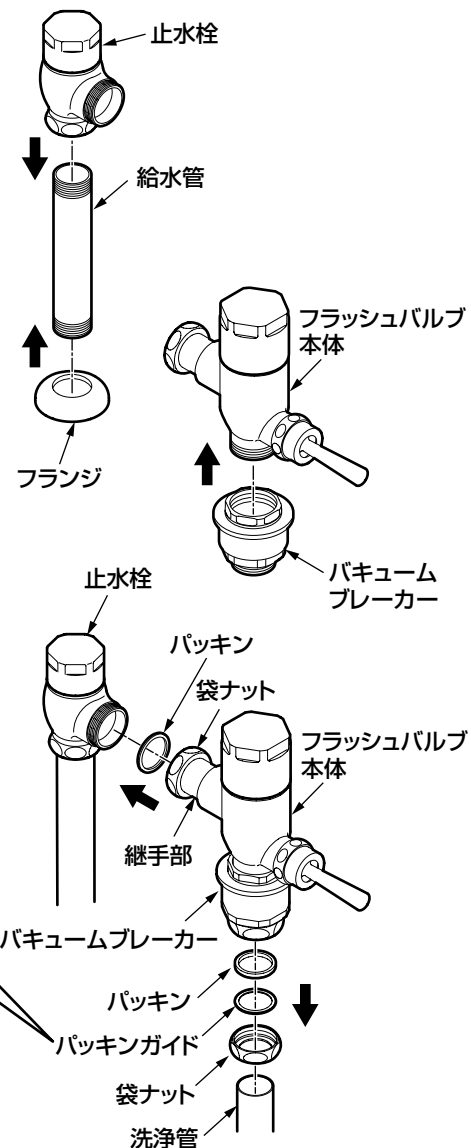
パッキン
パッキンガイド



⑥ フラッシュバルブ本体の接続部にパッキンを入れ、止水栓を取り付け、袋ナットで締め付ける。

注意

必ずパッキンが入っていることを確認してください。



3 水勢の調節

水圧の高低によって水勢が変わります。水勢が強すぎると水飛びを生じたり、洗浄音が高くなったりします。

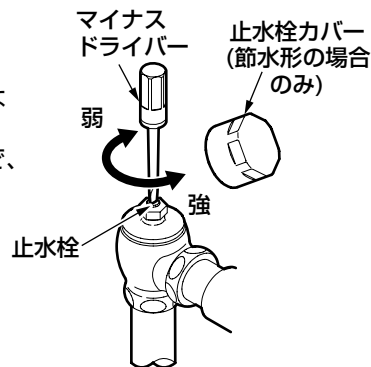
また水勢が弱すぎると、十分な洗浄ができませんので、

必ず止水栓で調節を行ってください。

時計回り…水勢が弱くなります。

反時計回り…水勢が強くなります。

※止水栓カバーを取り外すと止水栓があります。

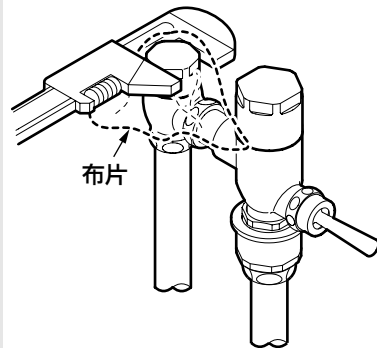


注意

<節水形の場合のみ>

止水栓カバーおよび本体カバーなど、めっきされた部分に工具などを用いる場合は、めっきを傷付けないように必ず布片をはさんでください。

めっきがはがれ、けがをするおそれがあります。

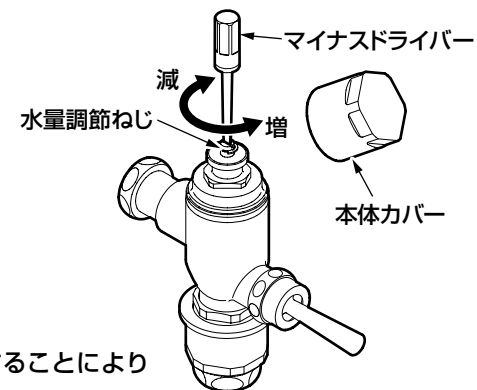


4 洗浄水量の調節

水量の調節をするときは本体カバーを取り外し、水量調節ねじで行ってください。

時計回り…洗浄水量が減少します。

反時計回り…洗浄水量が増加します。



節水形フラッシュバルブの場合

取り付ける便器に応じて洗浄水量を調節することにより高い節水効果が得られます。

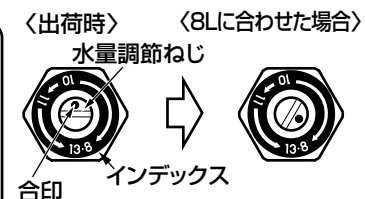
	腰掛便器			和風便器	
大便器の品番 (TOTO品番)	C550SU・C426R・C480AN C480N・C743PVN CS480CN・CS140・P	C21N CS210CN	C111	C755系 C756系	C750系 C137系
標準洗浄水量	8L	10L	13L	8L	11L
工場出荷時の 洗浄水量	10L (TV750型・TV850型・TV752型・TV852型)				

大便器の洗浄様式に合わせて、次の要領で洗浄水量を調節してください。

① 本体カバーを取り外す。

注意

- 出荷時は右図のようにセットされていますので、水量調節ねじを矢印方向に回転させインデックスに表示の洗浄水量を示す数字に合印を合わせてください。
- インデックスに表示されている数字は、洗浄水量の調節が容易にできるように表示した目安です。したがって正確な洗浄水量を表わした数字ではありません。



② 合印を合わせたあと、ハンドルを操作して確実に洗浄できるか確認する。

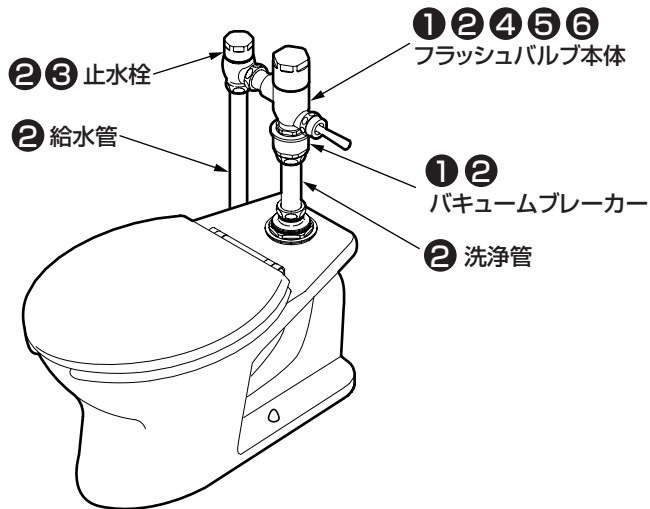
③ 洗浄の確認が終わったら本体カバーをねじ込み、締め付ける。

※標準調節洗浄水量で洗浄が不完全な場合は、水量調節ねじで、洗浄水量をさらに適正に調節してください。

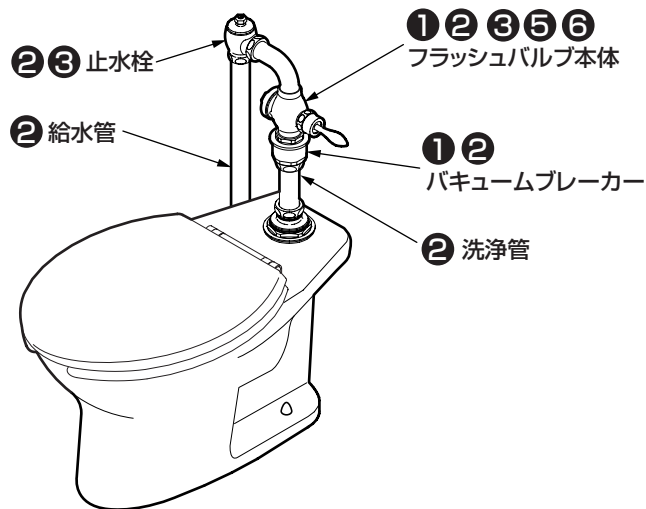
※洗浄水量調節中に現在の設定水量位置を見失ったときは一度調節ねじを時計回りに止まるまで(全閉)回してください。この位置から反時計回りに回して最初の「10」にマークを合わせると約10Lに設定できます。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

<節水形>
<普通形>



<低圧形>



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

① フラッシュバルブ本体はしっかり取り付けられていますか？

↳ ⑥-1 - ②「フラッシュバルブの取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

② 止水栓部および各連結管部の水漏れはないですか？

↳ ⑥-1 - ②「フラッシュバルブの取り付け」参照

流量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定どおりの洗浄水量が出ない場合は次の項目を確認してください。

③ 止水栓は開いていますか？

↳ ⑥-2 - ③「水勢の調節」参照

④ 洗浄水量は正しく設定されていますか？

↳ ⑥-2 - ④「洗浄水量の調節」参照

⑤ ピストンバルブのフィルター・小穴のごみ詰まりはないですか？

↳ フィルター・小穴の掃除をする。
※取扱説明書「日ごろのお手入れ」参照

⑥ 異常な音はありませんか？

↳ フィルター・小穴の掃除をする。
※取扱説明書「日ごろのお手入れ」参照

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。